

2020年度 1級面接試験合格 ベーシック講座 あなたの傾聴度をアップさせ指導法をワンランクアップ
傾聴するのは何のためかを事例相談者に正しく答えるための方法

評価区分は、
受検者の試験範囲

日程	東京： 2020年7月19日(日) 9:15~16:15	会場： すみだ産業会館 第3会議室 (錦糸町)
受講料	1日 会員：18,000円 一般：23,000円 キャリア塾受講者：13,000円 (税込) メルマガ会員の方は一般受講料でご受講ください。	

<p>傾聴することは、関係を築くこと意味しています。では関係構築は何のためにするのでしょうか。 →答えは、相手の〇〇を聞き出すための手段です。関係構築は目的ではなく手段です。これを1級技能士は指導レベルとして、事例相談者に伝えなければなりません。</p>	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本講座は、1級キャリア塾のカリキュラムのうち、基本となる「傾聴の意味とやり方」を一部抜粋して学ぶ講座です。たとえば、面談の最初で自己紹介をするのは、なぜでしょうか。1級の試験のテーマとしてとして、事例相談者に「キャリアコンサルタントとしてのロールモデル」であることを見せることがあります。このことを理解すれば、自己紹介で、何を、どのように話すべきかがわかります。 ・面接試験に「合格」するためには4つの評価区分の内容を理解し、採点者が実際に面談のどこをチェックしているかを知ることがスタートです。前回の検定で合格した(面接試験の到達)受検者と合格できなかった(面接試験の未達または所点未)受検者との違いは何かを理解することで、評価区分のうち、「基本的態度」や「関係構築力」について、また「一般化」の技法など、2級とは異なる対応は評価区分の、どこ何をどうすれば評価されるのかを読み解きます。 ・評価区分のうち、多くの受検者が苦手とする「問題把握力」と「具体的展開力」では、問題把握と合意のプロセス、具体的なレッスンのやり方を試験官にどうアピールするかを示します。

受講することで、理解し身につく内容	
評価区分について	<p>講座では、4つの評価区分の意味を正しく読み下して把握し、ロールプレイでの実践と口頭試問での回答にどのように反映させると効果的なのかをお伝えします。受講者は、本試験までにどのような対策をとるべきかが明確になります。</p> <p>評価区分と、自己紹介はどこに結びつくのか、守秘義務を伝えることは、基本的態度につながるなど、30分の面談過程すべての言動に意味があることを理解します。ほとんどの人が理解せず不合格になっています。</p>

** 秋からスキルの定着へ。

東京 9/19	「1級面接試験合格 ベーシック講座 プラス」 ベーシック講座を復習し、さらにスキルアップし、「一般化」を強化します。
大阪 9/5	
東京 11/14・15	「1級面接試験合格 アドバンス講座」 一般化と事例相談者視点の問題把握と、事例指導者視点の問題把握を強化し目標設定の「合意」まで2日間で習得します。
大阪 11/7・8	